

# TDSharedVar マニュアル

第 1 版 2005/03/22

Copyright © 2005

有限会社タンデム

## ご注意

- 1      本書およびソフトウェアの一部または全部を複写、または無断転載することは禁止されています。  
        ただし、弊社から本ソフトウェア製品を購入した場合には、自由に複写、改変できるものとします。
- 2      本書およびソフトウェアの仕様に関しては予告無く変更する事があります。
- 3      本書およびソフトウェアを運用した結果に関する一切のリスクは本製品使用者に帰属するものとします。
- 4      本書、ソフトウェアのバグ、製品納品遅延、性能もしくは運用に起因する付帯的損害、間接的損害に対し  
        て弊社に全面的に責がある場合でも、弊社はその対象となる製品価格以上の責任は負わないものとします。
- 5      本書に登場する製品名は、一般に開発メーカーの登録商標です。

## 目次

1 . はじめに.....	4
2 . テクニカルサポート.....	4
3 . インストール .....	4
4 . アンインストール .....	4
5 . 設定.....	5
6 . リファレンス .....	5
7 . サンプル.....	6
8 . モニタソフト .....	7
9 . ライセンス.....	8

## 1．はじめに

この度は、弊社ソフトウェア製品のご購入、ご評価を頂きましてありがとうございます。

本書は、TDSharedVar のマニュアルです。

TDSharedVar は、VB6.0 のアプリケーション間で、変数を共有し、値に変化があった事をイベントで通知する事ができます。

## 2．テクニカルサポート

弊社ソフトウェア製品に関するお問い合わせは、次の窓口までお願いいたします。

TEL           0265-74-6473

FAX           0265-74-6984

E-Mail       [support@tandem-inc.co.jp](mailto:support@tandem-inc.co.jp)

URL           <http://www.tandem-inc.co.jp/>

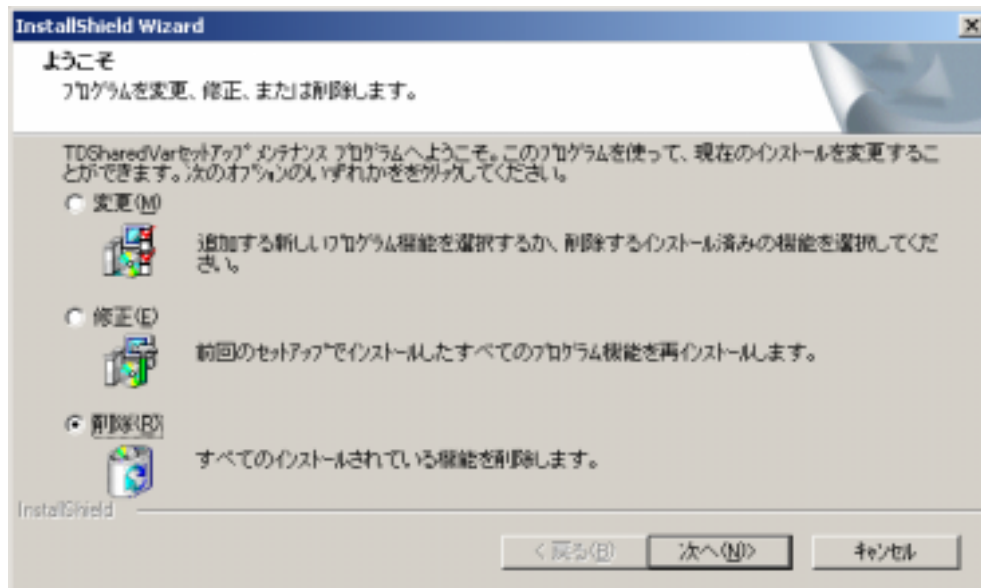
## 3．インストール

Setup.exe を実行します。

## 4．アンインストール

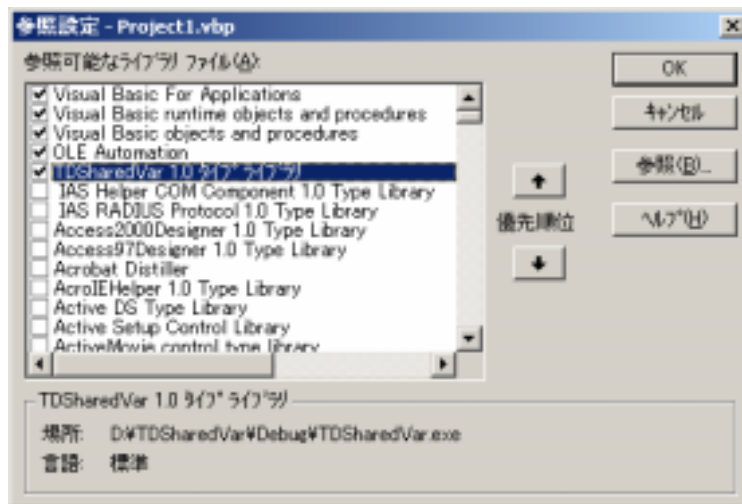
プログラムの追加と削除にて、TDSharedVar を選択します。

下記画面が表示されたら、削除を選択します。



## 5 . 設定

VB にて使用する場合、参照設定にて、TDSharedVar 1.0 タイプライブラリ を選択します。



## 6 . リファレンス

- (1) **SystemCtrl.EnableModifiedEvent(idx As Long, swt As Integer) As TDEnumCmdResult**  
引数  
**idx** 共有変数インデックスを指定します。  
有効範囲は、0 ~ 65536 です。  
**swt** イベント発生の有効無効を指定します。  
0 で無効、1 で有効です。  
返却値 **CmdSuccess** が返却されます。  
解説 共有変数の値に変化があった場合に、イベントを発生させるか否かを指定します。
- (2) **SystemCtrl.ReadSharedVariable(idx As Long, pData) As TDEnumCmdResult**  
引数  
**idx** 共有変数インデックスを指定します。  
有効範囲は、0 ~ 65536 です。  
**pData** 読み込んだ共有変数の値を格納するためにバリエーション型変数へのポインタを指定します。  
返却値 **CmdSuccess** が返却されます。  
解説 共有変数の値を取得します。
- (3) **SystemCtrl.WriteSharedVariable(idx As Long, pData) As TDEnumCmdResult**

引数

**idx** 共有変数インデックスを指定します。

有効範囲は、0～65536 です。

**pData** 書き込む共有変数の値を格納するためにバリエーション型変数へのポインタを指定します。

共有変数として書き込めるのは、Byte, Integer, Long, Single, Double, String 型です。

**返却値** CmdSuccess が返却されます。

**解説** 共有変数の値を設定します。

#### (4) SystemCtrl.ModifiedEvent( ByVal idx As Long, pData As Variant) As Long

引数

**idx** 値が変化した共有変数インデックスが引き渡されます。

有効範囲は、0～65536 です。

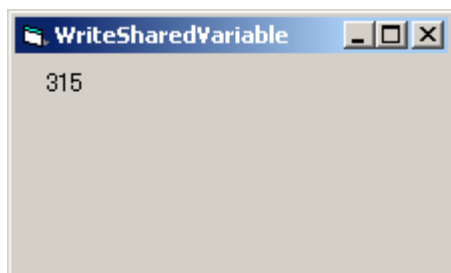
**pData** 共有変数の値が引き渡されます。

**返却値** 未使用のため、何を返却しても構いません。

**解説** 共有変数の値が変化した場合に発生するイベントです。

## 7. サンプル

VBTest1 の Project1 は、タイマイイベントにて、共有変数 0 番に値をインクリメントし書き込みます。

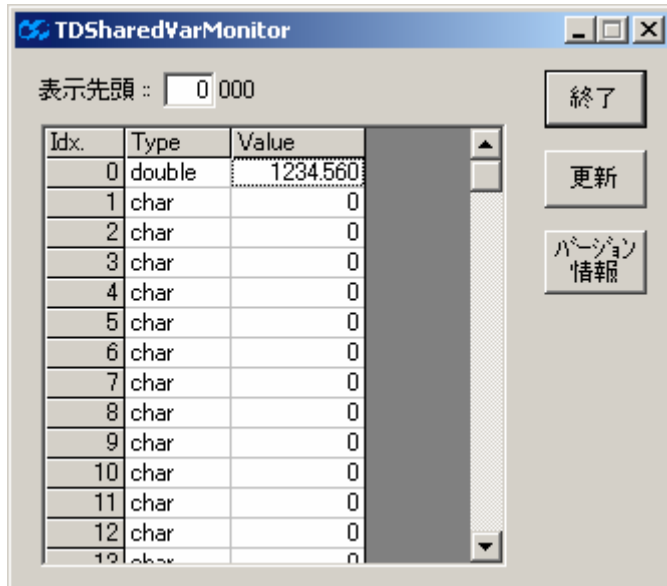


VBTest2 の Project1 は、共有変数の変化イベントにて、共有変数の値を表示します。



## 8. モニタソフト

モニタソフトによって、共有変数の値の確認と変更を行う事が出来ます。  
画面サイズを自由に変更する事が出来ます。

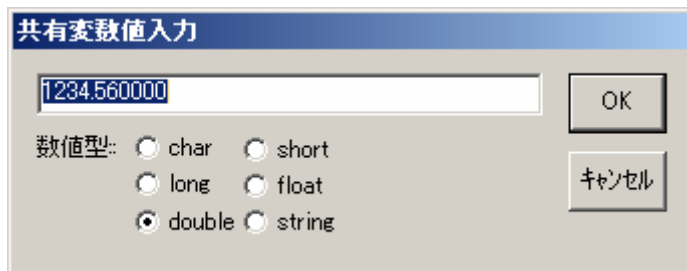


表示先頭：                    表示する共有変数番号を指定します。

更新：                        表示を最新のものに更新します。

バージョン情報：            バージョン情報を表示します。

グリッドをダブルクリックすると、下記のダイアログが表示されます。  
本ダイアログにて共有変数の値を変更する事ができます。

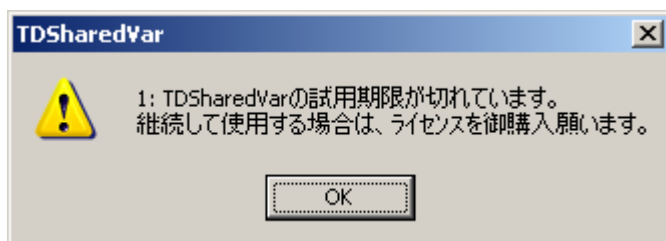


## 9 . ライセンス

下記は、バージョン情報画面です。  
ライセンス登録も本画面から行います。



ライセンス登録が行われておらず、試用期限の14日が経過した場合、TDSharedVer.exe の起動時に下記のメッセージが表示されます。継続して使用される場合は、ライセンスのご購入をお願いいたします。試用期間に特別な機能の制限はありません。



以上